

農大 NOW

令和3年度版

令和4年3月10日発行

大分県立農業大学校

〒879-7111 大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-1

TEL : 0974-22-7581 FAX : 0974-22-6387

E-mail : a15230@pref.oita.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.oita.jp/site/140/>

Facebook :

<https://www.facebook.com/ooitanooudai>



育心

～ 実り豊かな「農」と「人」～

農にはばたく ~熱い思いと希望を胸に~

農大の思い出

釘宮 照幸 (総合農産科 水田・野菜コース 水田・露地野菜クラス)

私の家は兼業農家で、幼いころから農業にかかわりながら育ちました。しかし、そのころの私は農業には興味がなく農業を継ぐことをあまり考えていませんでした。その後大分東高校の園芸ビジネス科に入学したことで農業を深く知り、家が農家であろうがなかろうが関係なく農業をやりたいと思えるようになり、進路を農業大学校に決めました。

農業大学校では専門の機械知識、免許取得や運転練習はもちろん、自分の課題を決めて責任をもって実践していくプロジェクト活動など、高校では体験できないような楽しかったことやつらかったことがたくさん私の2年間に詰まっています。農大では先進農家体験学習が特に思い出として残っています。3週間実際の栽培スケジュール管理、経営者としての考えを学び、自分と本物の経営者との違いが痛いほどにわかり、それ以後の学校生活で気を引き締める良い経験になりました。

卒業後は農業法人で働きます。農大で学んだことを忘れずに日々精進していきます。



農業大学校で学んだ技術と知識を生かして 安部 涼 (総合農産科 水田・野菜コース 野菜クラス)



農業大学校野菜クラスで、イチゴ、ピーマン、トマト及びかんしょなどの栽培技術を学びました。特に、入学前から関心があったいちご“ベリーツ”はプロジェクト研究課題で取り組んだ思い出の品種です。

病害虫の被害を抑え、樹勢を維持し適切に管理することは非常に大変でしたが、収穫の喜びや農業の面白さを実感できました。先進農家体験学習ではイチゴ観光農園で広い面積での効率的な栽培方法の他、スイーツの商品開発や販売方法も教えてもらい、知識が広がりました。

かんしょではGAP教育で、農薬や微生物汚染、異物混入のリスクを減らすこと、農薬の取扱い方法や圃場作業の記録の重要性を学びました。無事にグローバルGAP認証を取得でき自信に繋がりました。

卒業後は米、麦、大豆を生産している法人に就職します。農業大学校で学んだ栽培技術、GAP手法及び大型特殊機械等の操作技術を生かせるように頑張りたいと思います。

2年間で胸に今スタートを切る!

大田 雅和 (総合農産科 花きコース)

私は家業の農業を継ぐために高校から農業を学び始めました。実家ではカスミソウやホオズキなどの栽培をしています。小さい頃から花の出荷調整に携わるなかで深く花を学びたいと考え、併せてもっと多くの農業に関する知識や資格、経験を求めて農業大学校に入学しました。

農大では大型特殊免許や車両系建設機械、フォークリフトなど多くの資格を取得でき、たくさんの機械操作を体験することができました。プロジェクト活動ではハポタンの栽培、染色試験を行ないました。栽培試験では色戻りが多く発生し、出荷できなくなったものが多かったのがとても残念でした。染色試験では染色したハポタンが「プリンセスリーフ」として、大分のブランドになったときはとてもうれしく思いました。

卒業後は農業法人に就職します。そこで経験を積みつつ、実家の手伝いも行いながら、いずれは経営者として大分県農業に貢献したいと考えています。



就農するにあたり

後藤 竜聖 (総合農産科 果樹コース)

私の実家は豊後大野市でナシを主とした専業農家です。1.6haのナシ園では「なつしずく」をはじめ9種類のナシを栽培しています。私が幼いころは普通にナシ園があり、当時はナシ園内でよく遊んでいましたが、高校生になると農繁期に作業を手伝うことが多くなり、将来は実家の経営を継ぎたいと思うようになりました。

農業大学校に入学すると、大分県が開発中の新技術でブドウの2段仕立根域制限栽培をプロジェクトで取り組むことになり、ブドウ栽培に興味を持つようになりました。現在、両親はまだ現役でナシ栽培を続けていけるので、私は就農したらブドウ栽培を主に経営を行うつもりです。

農業大学校での2年間は、私にとって多くのことを学んだかけがえのない期間でした。卒業後は地域の果樹農業を発展させるために努力していきたいと思います。



夢・感謝

二宮 彩華 (総合畜産科)



私は、小さい時から動物が大好きでした。そして、高校では農業や加工品を学びました。そんな中、もっと農業のことを勉強したいと思い農大の総合畜産科で乳用牛を専攻しました。牛はとても可愛く、毎日の管理がとても楽しかったのを覚えています。また、命や食べ物のありがたみを改めて感じるがありました。しかし、分娩の事故で牛の母子ともに亡くなってしまったときは、とても悔しく悲しかったです。その日から後悔の無いように毎日、牛の世話をしっかりやろうと思いました。

この2年間でたくさんの人から色々なことを学びました。そして、私は「ブラウンスイスを飼養して美味しいチーズを作る」という将来の夢を叶えるため、酪農を営む牧場に就職します。そこで私は乳牛のことをもっと学び、そして独学でチーズのことを勉強して、将来的には小規模でも牛の飼養からチーズの製造まで自営できるように頑張ります。

最後に、総合畜産科の先生方や農大の職員の方には本当に感謝しています。農大に来てよかったです。立派になってそして美味しいチーズを持って農大に遊びに来ます！ 2年間本当にありがとうございました。

農業経験ゼロからの進撃!!

立川 滉也 (総合畜産科)

私の家は非農家です。しかし幼少時代から生き物が大好きで、生き物を相手にできる仕事・・・畜産に興味を持ちました。

私が農大に入学して一番大変だと感じた事は、実家で牛を飼っている人、また高校で畜産を学んだ人たちの知識と経験の差です。入学時、すでに知識に差があるので実習時間の作業量に大幅な差が出て苦労したのを覚えています。

しかし、先生方の判り易い講義のほか、実習では牛の飼養管理に詳しい友達が教えてくれたお陰で、今では分娩介助から子牛の飼養管理、また繁殖牛から肥育牛まで一通り『牛の飼ひ方』が判ってきました。

今では総合畜産科の学生は、共に『明日の畜産を担う仲間』です。農場作業を通して仲良くなり、信頼する仲間を作る事が、孤立し易い農業では大切な事だと学びました。

最後に先生方や先輩、後輩、友達、多くの方に支えて頂き本当に感謝しています。また農大で学んだ事を生かし、就職後も成長していきます。本当にありがとうございました。



今年1年を振り返って

学生会長 原 辰一郎

皆様や役員の間のご協力により、無事に令和3年度学生会長の役を終えることができました。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、入学式は2年生との接触を避けた形の開催となり、歓迎スポーツ大会での交流以後、一部の学校行事や9月の九州地区スポーツ大会が中止となってしまいました。

コロナ禍の中、11月の農大祭は大分農大創立55周年記念のイベントをかねて、学校関係者や地域の方々に、感謝の気持ちと、より元気になってもらいたい気持ちを込めてサプライズ花火を企画しました。学生に内緒で打ち上げた花火が、夜空に「ドーン」と輝くと、会場から大きな歓声が上がりと、とても嬉しかったです。また本校グラウンドと大分いこいの広場で開催された「おおいマルシェ」での農産物の販売では多くの方に来場いただき、大盛況に終えることができました。

学生会活動は思うようにいかないことも多々ありましたが、地域の皆様との繋がりを実感できた農大祭は忘れられない思い出です。

私たちが、貴重な学校生活を送ることができたのは、先生、外部講師の方々、後援会をはじめとした保護者の方々のご指導や励ましがあったからです。そして農家の方々や地域の皆様からの温かいご支援があったからです。心から感謝いたします。

今後は、本県の農業を担う一生産者として、大分県立農業大学のさらなる発展を願うとともに、プロの担い手が育つ魅力的な学校となるよう後輩たちの頑張りを応援したいと思います。皆様には引き続き、本校及び農大生に対するご指導、ご協力をお願いいたします。



～農大の一年 充実した学園生活～



令和3年度 農大生の活躍

学生フラワーデザインコンテスト

「第13回 めじろんカップ」で大分県知事賞を獲得!!

令和4年1月16日に(社)日本フラワーデザイナー協会大分県支部が主催した第13回「めじろんカップ」で、総合農産科花きコース1年の幸松美友貴さんが大分県知事賞(第1位)を獲得し、2年の上田綺音さんが(公社)日本フラワーデザイナー協会理事長賞、1年の神田若央さんがフラワー装飾技能検定大分県協議会会長賞を受賞しました。



受賞作品



県知事賞を受賞した幸松美友貴さん

技能検定成績優秀者表彰授与!!

令和3年11月14日(日)にJ:COMホール大分で開催された「第51回大分県技能祭表彰式典」において、本校花きコース2年の上田綺音さんが技能検定成績優秀者(令和3年度前期2級フラワー装飾)として表彰されました。



表彰式



受賞した上田綺音さん

大分県技能祭は、技能者の技能の向上と技能に対する社会一般の認識を深めることを目的に毎年優秀技能者等の表彰を行うものです。

技能検定合格者のうち職種・作業・級別で最も優秀な成績を収めた方に表彰が行われ、今回上田さんはフラワー装飾2級の部で見事受賞しました。

農産物販売 出張「みどりの風」

本校の学生が丹精込めてつくった自信の野菜や果物を多くの人に食べてもらおうと、大分市の「大分いこいの広場」で開催された「大分マルシェ」やトキハ明野アクロスタウンにおいて出張販売を行いました。各コースから出品される野菜や花、果物はどれも新鮮で価格も安いと好評で、開店と同時に長い列ができ、売り切れになってしまうものもありました。



新鮮な野菜や果物いかがですか!

2年間の集大成 ～プロジェクト発表会・意見発表会～

各学科・コース代表18名の学生が、プロジェクト学習の成果や日頃の想いについて発表する、校内プロジェクト・意見発表会を令和3年12月16日にエトピアおおので開催しました。その結果、プロジェクト発表は、総合農産科水田・野菜コース野菜クラス2年の高司瑠衣さん・高橋茉衣さんの発表と果樹コース2年の宇高和貴さん・半田雅幸さんの発表が、また、意見発表は総合畜産科1年の梶原拓野さんが大分農大代表に選ばれ、令和4年1月12日～13日にリモートで開催された九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表会に出場しました。



「べにはるかにおける小苗栽培が収量に及ぼす影響の検討」と題して発表する
水田野菜コース2年の久保十大さん



「輪菊の染色による品質価値向上を目指して」と題して発表する
花きコース2年の西尾隆馬さんと早瀬亮汰さん



「新型コロナウイルス感染症対応をきっかけとした飼養管理変更が乳用牛の生産性にもたらした影響」と題して発表する
総合畜産科2年の田中穂波さんと二宮彩華さん



表彰式



意見発表者



受賞者のみなさん

九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表会のようす

九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、校内会議室からリモートでの開催となりました。



「ハウスミカンの垣根仕立て栽培における断根処理の検討」と題して発表する
果樹コース2年の宇高和貴さんと半田雅幸さん



「いちごベリーズにおける摘花が収量及び糖度に及ぼす影響の検討」と題して発表する
野菜クラス2年の高司瑠衣さんと高橋茉衣さん



「私が考える梶原畜産の経営ビジョン」と題して意見発表する
総合畜産科1年の梶原拓野さん

活躍する卒業生

立派な担い手になるために日々修行中！

佐藤 大和

私は、宇佐市安心院町の出身で父が兼業で農業をしており、主に水稻を作っています。自分も将来実家の農業を継ぎ、専業農家になりたいと思い、農業の基礎的な知識や経営について学ぶために、農業大学校に入学しました。



農大に入学し、初めて地元から出てきた自分にとっての農大生活は、初めこそ不安なことも多かったですが、仲間や後輩と過ごす時間はとても楽しく有意義な時間でした。特に同じクラスの水田・野菜コースの仲間は優しくて面白くて何よりクセの強いやつらばかりで笑いが絶えない日々でした。そんな仲間と過ごした時間が農大生活一番の思い出です。

私は今、国東市安岐町の農事組合法人で主に機械のオペレーターとして働いています。毎日50分かけての通勤は大変ですが、仕事はとても楽しく、米・麦・大豆・ネギにおける栽培技術や知識などたくさんのことを、実務をもとに日々学びながら仕事をしています。また実家の方は昨年、農事組合法人を設立し、自分も休みの日や仕事から帰ってきてから手伝いをしています。

自分は将来、安岐町の法人で学んだ知識や経験などを生かし、故郷安心院町で大規模に土地利用型農業をしたいと考えています。安心院町のおいしいお米をたくさんの人に届けたいです。そして「魅力にあふれ儲かる農業」を実現し、担い手として大分県の農業を盛り上げていきたいです。

P.S. 25歳までには結婚し3人子供が欲しい

農業に触れて

重石 華菜恵

私の家は竹田市荻町にあり、トマトを作る専業農家です。幼い頃からよくハウスに入り、両親の手伝いをしてきました。手伝いをする中で農業に興味を持ち、将来農業をしたいと思い実践的に学ぶことが出来る農業大学校への進学を決めました。



農業大学校では、毎日実習をすることで、たくさんの知識や技術を身に付けることができました。また、色々なことに挑戦することができ大型特殊などの免許や資格を取得することができました。初めての寮生活では慣れないこともありましたが友人にも恵まれ充実した学校生活を送ることができました。

大学卒業後、私は両親の跡を継ぐ為に実家へ戻りトマト栽培をしています。まだまだ、未熟で分からないことだらけですが少しずつ技術を身に付けられるよう勉強していきたいです。

入田 拓海

私は、花きについて学ぶために農大へ入学しました。高校では鉢物を学んでいたのですが、農大で切り花を学ぶことができることを知り、わくわくしていたのを今でも覚えています。

花きコースは3名で、毎日みんなで楽しく実習を行ってきました。期待に胸を膨らませ、スイートピーの染色やフラワーアレンジメントを学んでいましたが、コロナ禍で求人がなく、花き農家に就職することができませんでした。



そして私は今、インフルエンザワクチンの原料となるワクチン卵を製造している三本松種鶏場で働いています。今まで畜産にふれることがなかったので、最初は不安でしたが、先輩方が優しく接してくれたので、今でも楽しく仕事をすることができています。

現在、集卵や鶏舎の鶏糞出しをしています。集卵は、鶏舎に設置しているベルトから流れてくる卵をトレイに詰める単純な作業ですが、卵の向きが逆さになっていないか、割れたものや汚れている卵がないかを確認しなければなりません。少し大変ではありますが、とてもやりがいのある仕事だと思っています。

人の命を守るためのワクチン卵に興味はありますか？興味があれば是非、三本松種鶏場へお越しください。

實延 和也

私は、大分市の非農家出身です。私が農業に興味を持ち始めたのは中学生の頃でした。知り合いの農家さんの手伝いをするうちに、自分も将来は農業をやってみたいと思うようになりました。



高校に入学してから農業を学びましたが、もっと本格的に学びたいと思い農業大学校へ進学しました。農大では、基本的な栽培方法や機械操作などを講義や実習を通して学んでいきました。

農大へ入学した当初は、初めての寮生活ということでも不安でした。しかし、実習や寮内で色々教えてくださった先輩方、同期や後輩の学生と接していくことで、とても楽しく充実した毎日を過ごすことができました。

農大卒業後は、豊後大野市の農業法人に就職しました。現在、取締役と私の2人ですが、これからも頑張っていきたいと思っています。

編集後記

「農大NOW」は平成6年3月に第1号が発行され、今回の令和3年度版が第29号となります。名前となっている「NOW」ですが、これはN：のびる、O：おもしろい、W：わかりやすい農業教育を実践する本校の今（NOW）を伝えていこうという意味が込められています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、海外研修を始めとする多くの行事が中止となってしまいました。こうしたなかであっても、学生達は充実した学校生活を送ってきました。今回の「農大NOW」でその一端に触れることができたら幸いに思います。

卒業後の学生たちのご活躍を期待しています。



一路順風

校長 宇都宮 隆一

大分県立農業大学校第30期卒業生の皆さん、新たな道に進まれる門出を心からお祝い申し上げます。また、保護者や関係者の皆様にもお慶び申し上げます。

卒業される皆さんは、「進取研鑽」「実践創造」「友愛協調」の校訓のもとに多くのこと学び、貴重な経験を積みました。全寮制の生活は、多くの仲間をつくり、絆を深めました。コロナ禍での学生生活を乗り切った皆さんは、自信と誇りを持って次なるステージに立ち、光り輝くことを信じています。

これからも母校農業大学校は皆さんを応援しています。

私たち 郷土に生きる

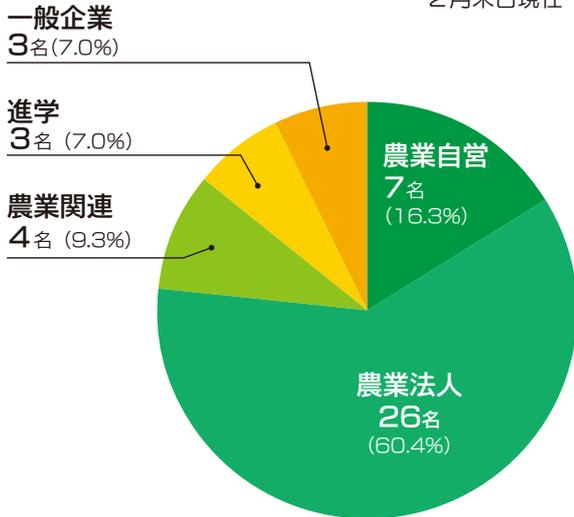
自らの選択

農学部第30期卒業生の進路決定状況は下のグラフのとおりです。卒業後、即自営を行う者、農業法人や農業関係団体等に就職する者の割合が86%となっています。

また、各種資格取得や免許に関する学習を全学生対象に実施していますが、多くの学生が何らかの資格や免許を取得しています。

令和3年度 卒業生43名の進路状況

2月末日現在



卒業生の進む道

(令和4年2月28日現在)

卒業生の資格・免許取得状況(1・2年次通算)	取得者数
大型特殊免許(農耕車限定)	38
けん引免許(農耕車限定)	30
小型車両系建設機械運転特別教育	5
車両系建設機械(整地等)運転技能講習	14
フォークリフト運転技能講習	23
ボイラー取扱技能講習	6
ガス溶接技能講習	11
アーク溶接作業特別教育	13
日本農業技術検定3級	12
土壌医検定3級	2
フラワー装飾技能検定2級	1
フラワー装飾技能検定3級	1
家畜商講習修了証	10
家畜人工授精師免許	10
全経簿記検定3級(商業簿記)	3
情報処理技能検定試験2級(表計算)	3
情報処理技能検定試験準2級(表計算)	3
情報処理技能検定試験3級(表計算)	23

卒業後の進路(3年間)

農業法人等 株式会社ohana本舗 株式会社石和田産業 株式会社うららフラワー 株式会社大分サンヨーフーズ キングラン株式会社 株式会社坂田信夫商店 株式会社自然農研 JA北九州ファーム株式会社 株式会社創 株式会社フレッシュグルメ 株式会社未来農林 社会福祉法人偕生会 農事組合法人カヤノ農産 農事組合法人蜷木宮農 株式会社グリーンストック 有限会社グリーンファーム久住 有限会社フラーウさ 田邊畜産 本匠牧場 大分佐伯ファーム株式会社 JR九州ファーム株式会社 有限会社本川牧場 株式会社匠牧場 株式会社らいむ工房 株式会社奥松農園くにさき 有限会社三本松種鶏場 農事組合法人JOフーズ 農事組合法人中園営農組合 農事組合法人グリーンアース キュウセツAQUA株式会社 小川香料株式会社 中津もぎたてファクトリー 長谷雄牧場有限会社 株式会社真玉キャトルファーム 株式会社よこやま大動物病院 有限会社釘宮牧場 トゥルーバファーム株式会社 名水美人ファクトリー株式会社

農業団体等 JAおおいた JA大分大山町 JAうすきたまご株式会社 臼杵農場 株式会社大分県畜産公社

農業関連企業 株式会社大三ミート産業 株式会社中九州クボタ キクチ種苗株式会社 ヤンマーアグリジャパン株式会社 九州支社 竹田南高校実習助手 華つねまつ

進学 大分県佐伯高等技術専門学校 別府溝部学園短期大学 愛媛大学農学部3年次編入 タキイ研究農場付属園芸専門学校



就職相談会の個別相談



就職相談会 開会式